

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 5 区分
 【発行日】令和 5 年 2 月 2 日(2023.2.2)

【公開番号】特開 2023-10964(P2023-10964A)
 【公開日】令和 5 年 1 月 20 日(2023.1.20)
 【年通号数】公開公報(特許)2023-012
 【出願番号】特願 2022-187274(P2022-187274)
 【国際特許分類】

D 2 1 H 19/36(2006.01)

10

B 3 2 B 29/00(2006.01)

D 2 1 H 21/14(2006.01)

【F I】

D 2 1 H 19/36 Z

B 3 2 B 29/00

D 2 1 H 21/14 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 1 月 25 日(2023.1.25)

【手続補正 1】

20

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

紙基材の少なくとも一方の面上に、熱可塑性樹脂を含む塗工層を有し、
前記紙基材の坪量が、 20 g/m^2 以上 600 g/m^2 以下であり、

前記塗工層が、アンチブロッキング剤としてワックス又は顔料から選ばれる 1 種以上を
 含み、

30

前記塗工層に含まれる熱可塑性樹脂が、エチレンアクリル酸共重合樹脂を含むことを特
 徴とするヒートシール紙。

【請求項 2】

前記塗工層におけるワックスの配合量が、熱可塑性樹脂 100 質量部に対し、1.2 質
 量部以上であることを特徴とする請求項 1 に記載のヒートシール紙。

【請求項 3】

前記塗工層における顔料の配合量が、熱可塑性樹脂 100 質量部に対し、200 質量部未
満であることを特徴とする請求項 1 に記載のヒートシール紙。

【請求項 4】

アンチブロッキング剤として、ワックスと顔料との両方を含むことを特徴とする請求項
1～3 のいずれかに記載のヒートシール紙。

40

【請求項 5】

前記塗工層が、ガラス転移温度が 100 以下の熱可塑性樹脂を含むことを特徴とする
 請求項 1～4 のいずれか一項に記載のヒートシール紙。

【請求項 6】

前記塗工層が、カルナバワックスを含むことを特徴とする請求項 1～5 のいずれか一項
 に記載のヒートシール紙。